

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	依存症対策	担当部局庁	障害保健福祉部	作成責任者			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22年度	担当課室	精神・障害保健課	福田 祐典			
<b>会計区分</b>	一般会計	施策名	Ⅶ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-	関係する計画、通知等	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	薬物、アルコールを中心とした各種依存症対策(以下、「薬物・アルコール等依存症対策」という。)においては、依存症そのものの回復に向けての取組を充実させることが重要であることから、薬物・アルコール等依存症対策の先進的な取組を行う地域を支援することを目指す。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	依存症対策の関係者から構成される検討会を設け、先進的な取り組みを行う団体を選択するために、検討を行う経費。						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算		1	1	1	1
		補正予算					
		繰越し等					
		計		1	1	1	1
		執行額		0.105	0.105		
	執行率(%)		10.5%	10.5%			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	依存症対策の検討を行うための事務費であり、経費の性質上、定量的な成果実績等の計測は不可。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	依存症対策の検討を行うための経費のため、活動実績等の計測は不可。	活動実績 (当初見込み)	-	—	—	—	—
<b>単位当たりコスト</b>	-	算出根拠		-			
<b>平成24・25年度予算内訳</b>	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	依存症対策	1	1				
	計	1	1				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	薬物・アルコール等の各種依存症対策は喫緊の課題であり、当該対策においては地域の実情に応じた取組が必要不可欠である。また、各種依存症の当事者やその家族等からも当該対策を強く求められているところであり、そのニーズも高く、裕んども高いと考える。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	依存症対策については、地方自治体等と協働して推進する必要がある。また、本事業の実施に当たっては国において最終評価等を行う必要がある。このため、本事業は国主導の下実施すべきものであると考える。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	本事業は、実施自治体において地域における依存症対策を独自に開発し、それを実施・検証するものであり、自治体によりその取組は様々であること、また、実施する取組も実施年度により異なる場合があることから、不用が生じているものである。
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	会議開催経費等、費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業は地域の実情に応じた取組を、その自治体において先駆的な取組を開発・実施・検証を行うことで、より高い依存症対策が図られると考えている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	評価検討会の結果、特に効果的と評価された事業については、平成24年度から開始する地域依存症対策支援事業において更なる検証を図るとともに、自治体に対し情報提供することとしている。	
点検結果	<p>地域依存症対策推進モデル事業については、平成21年度より3か年で実施し、地域の実情に応じた依存症対策の開発・実施・検証や、医療機関・自助グループ・当事者・家族等の地域連携体制の構築などを行う自治体に対し補助を行っている。また、本事業においては、当該モデル事業の検証・評価を行う検討会を国及び実施自治体において開催している。</p> <p>平成24年度以降も地域依存症対策支援事業として、本モデル事業における好事例の更なる検証を行うこととしており、引き続き、地域における依存症対策の推進に努めていくこととしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、薬物・アルコール等依存症対策の先進的な取組を行う地域を支援するための経費であり重要であることから、予算規模を維持すべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	870

※平成23年度実績を記入

厚生労働省  
0.105百万円

業務概要: 依存症対策の関係者から構成される検討会を設け、先進的な取り組みを行う団体を採択するために、検討を行う経費。



A 事務費  
0.105百万円  
(検討会の謝金、旅費及び会議費)

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごと  
 に最大の金額が支出され  
 ている者について記載す  
 る。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記  
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	平成23年度地域依存症対策推進 モデル事業評価検討会出席謝金	0.055			
旅費	平成23年度地域依存症対策推進 モデル事業評価検討会出席旅費	0.049			
会議費	平成23年度地域依存症対策推進 モデル事業評価検討会会議費	0.001			
計		0.105	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		9	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	平成23年度地域依存症対策推進モデル事業評価検討会出席謝金及び旅費	0.059		
2	個人B	平成23年度地域依存症対策推進モデル事業評価検討会出席謝金及び旅費	0.020		
3	個人C	平成23年度地域依存症対策推進モデル事業評価検討会出席謝金及び旅費	0.020		
4	麴町税務署	平成23年度地域依存症対策推進モデル事業評価検討会出席謝金の支払いに係る所得税	0.005		
5	(株)ヤスモト	平成23年度地域依存症対策推進モデル事業評価検討会会議費	0.001		
6					
7					
8					
9					
10					